

2024年度 倉敷中央病院 医師労働時間短縮計画

計画期間	2024年4月～2025年3月末
対象医師	常勤医師526名

1.労働時間と組織管理（共通記載事項）

（1）労働時間数

年間の時間外・休日労働時間数		全体	血液内科	循環器内科	心臓血管外科	整形外科	麻酔科
平均	前年度実績	494.20	629.56	628.96	827.77	840.71	542.35
	当年度目標	960.00	960.00	960.00	960.00	960.00	960.00
	計画期間終了年度の目標	960.00	960.00	960.00	960.00	960.00	960.00
最長	前年度実績	1214.5	960.25	993.25	998.75	1214.50	995.50
	当年度目標	960.00	960.00	960.00	960.00	960.00	960.00
	計画期間終了年度の目標	960.00	960.00	960.00	960.00	960.00	960.00
960時間超～1,860時間の人数・割合	前年度実績	17人/3.2%	1人/7.6%	3人/9.6%	1人/14.2%	11人/64.7%	1人/5.5%
	当年度目標	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%
	計画期間終了年度の目標	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%
1,860時間超の人数・割合	前年度実績	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%
	当年度目標	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%
	計画期間終了年度の目標	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%	0人/0%

（2）労務管理・健康管理

労働時間管理方法

前年度の取組実績	出退勤打刻で管理している
当年度の取組目標	上記事項を継続する
計画期間中の取組目標	同上

宿日直許可の有無を踏まえた時間管理

前年度の取組実績	宿直体制から交代勤務制へ移行。また一部診療科で宿日直許可を取得
当年度の取組目標	上記事項を継続する
計画期間中の取組目標	同上

医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等

前年度の取組実績	当院策定の研鑽/労働時間の取扱いについてのガイドラインに則って運用
当年度の取組目標	上記事項を継続する
計画期間中の取組目標	同上

労使の話し合い、36協定の締結

前年度の取組実績	協議の場として、労働者の過半数で組織する院友会連絡会を年2回開催。36協定については院友会と協議・締結したものを届け出ている
当年度の取組目標	上記事項を継続する
計画期間中の取組目標	同上

衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制

前年度の取組実績	・労働安全衛生委員会を月1回開催する ・月の時間外勤務が3ヶ月連続して80時間を超えるとき、及び該当医師から申し出があったときは産業医による面接指導を行っている
当年度の取組目標	上記事項に取り組む
計画期間中の取組目標	同上

追加的健康確保措置の実施

前年度の取組実績	・面接指導実施医師5名が必要な研修の受講を修了 ・2023年9月より面接指導開始
当年度の取組目標	面接指導実施医師の増員
計画期間中の取組目標	同上

（３）意識改革・啓発

働き方改革に関する医師の意識改革

前年度の実績	各診療科で医師の時間外上限規制に向けての2023年度目標を設定し、取り組んだ
当年度の実績	全診療科 A 水準内となるよう労働時間のモニタリングを継続
計画期間中の取組目標	上記事項に取り組む

（４）策定プロセス

各職種（医師、看護師、薬剤師、技師、事務）が参画する医師の働き方改革ワーキングを開催し、医師の働き方改革について検討を行い策定。ワーキングの内容については、役員で構成される運営会議で検討された後、各診療科の主任部長で構成される診療管理会議で報告され、イントラネットで職員に周知される。

2. 労働時間短縮に向けた取組（項目ごとに任意の取組を記載）

（１）タスク・シフト／シェア

医師事務作業補助者

計画策定時点での取組実績	診療記録への代行入力：入院診療計画書、診療情報提供書、退院サマリ、入院病歴要約、退院療養計画書、診察記事の作成支援を実施している
計画期間中の取組目標	診療記録の代行入力の継続 救急即日入院の紹介患者の返書（診療情報提供書）第一報作成支援の開始

（２）医師の業務の見直し

計画策定時点での取組実績	宿日直体制を見直し、交代勤務制・オンコール体制への移行、もしくは宿日直許可申請を取得した
計画期間中の取組目標	勤務状況のモニタリングを継続する

（３）その他の勤務環境改善

計画策定時点での取組実績	時短勤務、院内保育、ベビーシッター派遣事業割引券取扱い、子の看護・介護休暇制度、私傷病休暇の不妊治療適用拡大。 2023年度男性医師の育児休暇取得 10件 日勤帯の手術件数を増加させて時間外を減少させるため、麻酔科医、病理医を増員 現行の診療体制を維持するため、医師の欠員補充を行う
計画期間中の取組目標	男性育児休暇の取得推進。 有給休暇取得率 70%以上 麻酔科医、病理医の増員 消化器内科医の欠員補充

（４）副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

計画策定時点での取組実績	副業・兼業の労働時間管理のシステム導入を検討したが、実現に至らず
計画期間中の取組目標	・各診療科に派遣されている非常勤医師の勤務状況調査実施、派遣元との情報共有 ・当院所属医師の副業、兼業の労働時間の管理